

件名 (用務)	平成29年度 第2回常任理事会		
会 議	平成29年12月20日(水)	場 所	県政資料館 第1会議室
1 出席者 常任理事会：志賀 会長以下 常任理事 10名			
2 概 要 常任理事会 14:00～16:00			
◆配布資料			
・平成29年度 第2回 常任理事会レジュメ			
(1) 開 会			
① 山口県スポーツ推進委員協議会長あいさつ (志賀会長)			
② 山口県観光スポーツ文化部審議監あいさつ (藤村審議監)			
(2) 議題			
① 平成29年度事業実施状況及び収支決算見込みについて <span style="float: right;">承認</span>			
○事務局より説明。			
・下関地域4月20日(木)実施を追加。			
・今後は需用費とリーダー研修会旅費の支出で最終残金は40万円程度。			
② 平成29年度中国地区スポーツ推進委員研修会決算について <span style="float: right;">承認</span>			
○事務局より説明。村元常任委員より決算報告と補足説明。			
・P5の決算書は5月12日県理事会での予算書に対する決算書。 県理事会では雑収入の金額を確定させるとともに科目の見直しを行い、各市町協議会へ広告料を依頼した。			
・P6の決算書は4月12日中国理事会での予算書に対する決算書。 中国理事会の予算には情報交換会等の経費を計上しない。			
・違いは予備費の支出内容。			
・雑収入(参加費・広告料)の増額で県からの補助金は0円。			
・残金については、岩国地域スポーツ推進委員協議会でスポーツ備品の購入など有効活用する。			
③ 平成30年度事業計画及び収支予算案について <span style="float: right;">承認</span>			
○事務局より説明。			
【活動方針(案)】			
・各市町協議会で、この内容を新年度に生かしていけるように準備をしていく。			
・スポーツ推進委員の役割・任務等について明記。			
・1-(3)・(4)第2期スポーツ基本法では、総合型スポーツクラブとの連携や推進委員の資質の向上が記されているため、推進委員が総合型スポーツクラブや地域団体、学校等とタイアップして地域住民へスポーツをする場の提供や体力向上について取り組む。			
・2-(3)機関誌「みんなのスポーツ」を全スポーツ推進委員が購読して研修を深めるよう各地域で呼びかけを行う。			
【事業計画(案)】			
・例年通り会議・研修会を実施。			
【予算(案)】			
・収入は繰越金を40万円で予算を作成。			
・支出は広島市で中国理事会を開催するため旅費を多めに予算化。			

- ・報償費は来年度の受賞者数を見て予算化。
- ・県研修会には 35 万円予算化。(県 30 万・連合 5 万円)
- ★すぐには分担金(1,500 円)の増額は難しいと考えられるし、今後も増額できない可能性がある。支出の見直しをしっかりと行い、収入内での運営を進めていく。そのために、県研修会では無駄な支出をおさえ、全国連合のリーダー研修会の参加は 1 名とする。

④ 平成 30 年度山口県研修会（萩地域開催）について 承認

- 事務局より説明。岩田常任理事より補足説明。
  - ・開催要項、研修会内容、進捗状況の説明

⑤ 平成 30 年度各種功労者表彰の選考について 承認

- 事務局より選出案を説明
  - ・全国、中国表彰受賞者及び団体を提示。
  - ・団体は平生町。これで 19 市町のすべてが受賞となる。
 平成 31 年度からは申し合わせ通り次年度の研修会引受地域より選出。
  - ・受賞候補者の選考基準確認事項
    - 30 年勤続：退任後 1 年以内の者を含む
      - …1988 年 4 月 1 日以前に任命された推進委員。
      - 2018 年 3 月 31 日をもって 15 期 30 年を終える。
    - 中国地区功労者：途中退任でも通算 10 期 20 年を務めた者を含む
      - …1998 年 4 月 1 日以前に任命された推進委員。
      - 2018 年 3 月 31 日をもって 10 期 20 年を終える。
    - 県功労者：途中退任でも通算 5 期 10 年を務めた者を含む。
      - …2008 年 4 月 1 日以前に任命された推進委員。
      - 2018 年 3 月 31 日をもって 5 期 10 年を終える。
  - ★基準日は 3 月 31 日とする。途中任命者で 3 月 31 日に月日が達していない場合は翌年の表彰対象とする。
  - ★年度末に各市町事務局へ候補者の調査を実施する。

### (3) 事務連絡

- 来年度の役員について
  - ・来年度は役員の改選期(30-31 年度任期)となる。
  - ・平成 30 年 5 月 11 日(金)に予定している第 1 回常任理事会で協議した上で新役員を決定し、その後の理事会で承認を受ける。前回のよう  
に事務局案を提示するのではなく、全員で協議して決定。
- 初任者研修会について
  - ・下関地域 4 月 20 日(木)開催を追記。
  - ・今後初任者研修を実施し、補助金が必要な場合は県事務局に連絡。
- リーダー研修会の参加者の選出について ※連合より決定通知待ち
  - ・萩 地域 阿武町スポーツ推進委員 後根 浩 さん
  - ・岩国地域 岩国市スポーツ推進委員 末広和孝 さん
- 平成 30 年度中国地区スポーツ推進委員研修会の開催について
  - ・例年 3 月下旬に案内している要項 1 次案を掲示。なるべく多くの方に参加してほしいと広島県事務局より連絡有り。
- 山口県スポーツ推進委員研修会開催地と発表順について確認。

### (4) その他

- 情報交換
  - 恵本女性委員長

・女性委員会の報告。

岩田常任理事

・萩研修の準備状況について報告。

青木常任理事

・ノルディックウォーキングの実施状況：地域への取り組み紹介。

・王司病院との連携。（高齢者の体力づくり・健康づくり）

竹島理事長

・障害者へのスポーツ提供のため手話の講習を取り入れている。

畦森副会長

・任期の短い推進委員の資質の向上に努めている。

・地域へどのように関わっているか。（定期的に情報交換・助言）

・小学校の課外活動に週1回参加し、ニュースポーツの指導をしている。（グランドゴルフ、カローリングなど）

平中常任理事

・今年度県レクリエーションフェスティバルを引き受けた。

・実行委員会への出席要請があるとよい。県からレク協へアドバイスする。

・山陽小野田オートレース場でのパラサイクリングをきっかけとして障害者スポーツへの関わりを検討中。

若山常任理事

・町のウォーキング大会、運動会の企画・運営。

・公民館から交流センターへ名称変更。

・地域住民へのスポーツをする場の提供するため事業を計画中。

※ラジオ体操など（予算化された）

村元常任理事

・人材バンクの充実 スポーツ推進課・生涯学習課・障害者支援課と連携してネットワークづくりを行っている。

・学校運営協議会に役員として入っている。児童・生徒の体力づくりについて関わりをもつ。

田中副会長

・前回の県研修会のリクエストを生かして、萩城下町を生かした実技研修を検討中。

重本副会長

・月1回で年10回の研修会を開催。旧市郡内に研修会場を振り分けなるべくたくさんの参加を募っている。参加率を上げるために工夫を凝らしている。

・ニュースポーツの発見。セキレックも開発後10年が経つ。

・資格取得を進めるが個人負担である。

・海響マラソンには推進委員の118名中90名が運営に参加したが、全国・中国研修会への参加は少なく残念である。

志賀会長

・地域の欠員が3名あるが、推薦が出てこない。

・宇部はスポーツコミッションがあるので資格取得には予算がある。

・障害者スポーツの資格を2年かけて取得した。

○全体を通して

・情報の共有ができるようにホームページを準備した。

宇部市スポーツ推進委員協議会HPから山口県スポーツ推進委員協議会の情報共有

<http://ubespo.city-ube.jp/members>

★利用の仕方

- ①宇部市スポーツ推進委員協議会 HP のトップページ・メニューリストの member's only をクリック
- ②ユーザー名：yspo または spo 半角小文字  
パスワード：1234 半角小文字 を入力
- ③山口県スポーツ推進委員専用ページに入ることができる。

- ・県事務局が中心となって、実技指導・資格取得者人材バンク名簿を作成。県・地域研修会の実技指導において有効活用を目的とする。  
→各市町事務局と連携し、名簿の作成を行う。
- ・連合が実施しているリーダー研修会に参加した方々の資質維持  
→今後、研修会に参加したリーダーの研修会を県で開催できるように検討。情報や指導内容の共通理解を図る。
- ・スポーツ推進委員の一般公募について  
→各市町の実情に応じて対応。
- ・功労者表彰について  
→今後の受賞者名簿を作成し、市町事務局と共通理解を図る。
- ・小・中学校区運営協議会へのスポーツ推進委員の参画について  
→各市町の状況を把握。
- ・予算削減のための対応  
リーダー研修会への参加人数 2名→1名、 県研修会での補助  
今後予算の削減に向けて、他にどのような項目の見直しができるかを検討していく。

### 3 担当者所感

第2期スポーツ基本計画では、スポーツ推進委員の資質の向上や人材育成、総合型スポーツクラブや地域スポーツ団体との連携・協働が示されている。「みんなのスポーツ」を利用して個人で資質の向上に努めるとともに、スポーツ推進委員が連携して「スポーツの参画人口の拡大」を進めていかなければいけないと感じた。

今後の運営資金について、支出内容や金額の見直し時期にある。今年度は、中国大会引受で参加費や雑収入が予想以上にあった結果、県研修会の補助金が0円となり繰越金に回すことができた。会長の説明通り、各市町の現状を考えると分担金の増額は難しい。支出内容を精査していき、収入と支出のバランスが取れた運営を進めていかなければいけない。

今年度で28・29年度の任期を終えるため、来年度の理事会で新役員の選出となる。

最後に情報交換を行った。各市町や地域の現状把握できるので、有意義な時間であった。次回からもこの時間確保のために、事務局として会議の円滑な運営の工夫をしていくとともに、常任理事の方々にも資料を持ち寄るなど簡単な情報交換の準備をしていただく必要があると考えた。一番大切なのは、内容を各市町や地域に持ち帰り、スポーツ推進委員の活動をより活性化していくことだと思った。

※常任理事会概要については、常任理事・理事及び各市町担当者に送付します。